

さんま通信

厚生中央病院 だより 第76号 



厚生中央病院の理念

1. 私たちは、心の通った温もりを感じる医療を目指します。
2. 私たちは、組合被保険者ならびに地域の人々の健康と福祉に貢献します。
3. 私たちは、病院機能の充実を図り、サービス向上のため日々研鑽します。

目次

- 心血管疾患 1
- 出血性脳血管障害への対応 2
- 画像下治療 3
- 栄養科の紹介及び当院のお食事について ... 4

心血管疾患

副院長・循環器内科部長 五関 善成

いつも近隣の医療施設の先生方や関係者の方々には医療連携を通じて大変お世話になり感謝申し上げます。今回心血管透視装置の老朽化に伴い最新の装置への取り換え工事が行われ、令和6年3月22日より新しい心血管撮影装置が稼働いたします。新しい装置では高画質+低被ばく線量が実現でき、今まで以上に患者様に対して質の高いかつ安全な心血管治療を冠動脈形成術や経皮的下肢動脈形成術、カテーテルアブレーションやペースメーカー植込みにおいて提供できるものと思います。具体的には冠動脈形成術や経皮的下肢動脈形成術などにおいて高

い解像度が要求される血管分岐へのステント留置や長い病変へのステントの追加など留置済みのステントに対する位置決めを高い精度で行えます。慎重に適応を判断し、大学病院とも連携をとりながら1例1例真摯に対応して行きたいと思えます。

また、高齢者の心不全や原因不明の体調不良なども従来通り入院後は多職種で協力して対応し、社会的要因や生活環境も踏まえたうえで加療・リハビリをして安心して退院していただけるように心がけていきます。引き続きよろしくお願いたします。



出血性脳血管障害への対応

副院長・脳神経外科部長 秋元 治郎

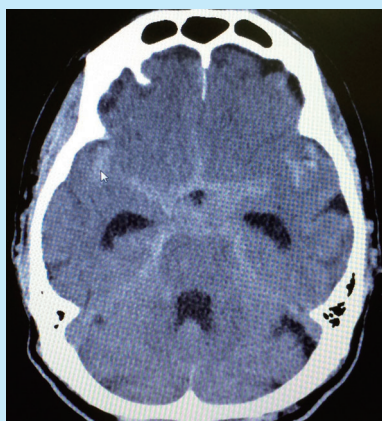
出血性脳血管障害の代表がクモ膜下出血と脳出血です。成人発症の場合、前者のほとんどは脳動脈瘤の破裂、後者は血圧上昇によるものです。脳動脈瘤は破裂しない限り無症状であるため、脳ドックを利用して発見するしかありません。2親等以内のご家族にお一人でも脳動脈瘤を指摘された方がいらっしゃる場合には、50歳を過ぎた時点での脳ドック受診を勧めております。脳動脈瘤が破裂した場合は、迅速かつ最善の治療を行わないと、死に至ることが多い病態です。当院では24時間、365日、脳卒中専門医による対応が可能であり、脳血管造影検査の後、迅速に開頭クリッピング術か脳血管内治療を行える体制を整えております。脳出血に関しては、日頃の血圧への配慮の重要さを痛感いたします。出血した場所や量によっては重篤な神経後遺症を生じ、人生の質を大きく落としてしまうこととなります。出血量が多い場合は、救命のための開頭血腫除去術が必要となります。そして、早期からのリハビリテーション介入を行っております。重い神経後遺症が生じた場合には、回復期リハビリテーション病院への早期転院を実現しております。

クモ膜下出血の血管内治療例（症例1）、高血圧性脳内出血の開頭血腫除去例（症例2）を添付します。

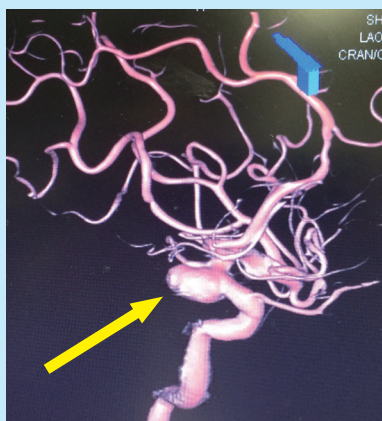
出血性脳血管障害の治療は1分1秒を争う病態です。当院脳神経外科チームは常に迅速な診断による最善の治療を提供できると自負しております。

症例1

術前



クモ膜下出血
(白色の部分)



破裂内頸動脈瘤
(黄色矢印)

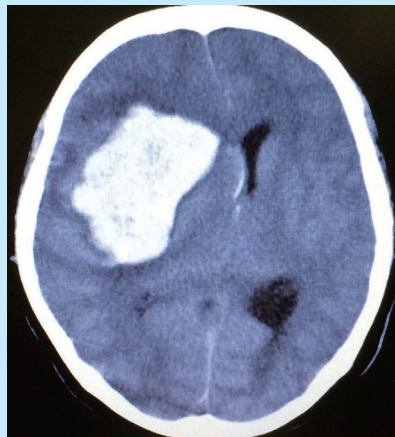
術後



右内頸動脈瘤をプラチナコイル
で完全に塞栓。(黄色矢印)

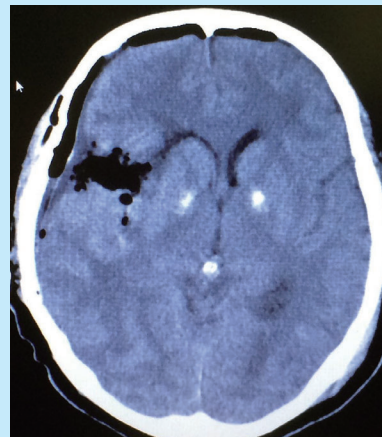
症例2

術前



右被殻出血50cc以上 (白色に見える部分)

術後



開頭術にて血腫を全摘出

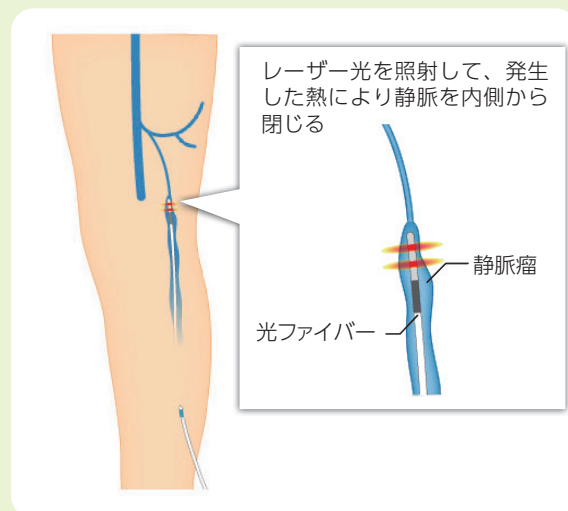
血管撮影、X線透視、CT、超音波などの画像の誘導下で行う治療です。血管内のカテーテル治療がおなじみと思います。外科的な手術と比較し低侵襲で手術時間や入院期間が短いことなどが挙げられます。当科では下肢静脈瘤の外来診療、レーザー治療や硬化療法などの低侵襲治療を行っています。下肢静脈瘤が疑われる患者様がいらっしゃいましたらご紹介していただくと幸いです。

下肢静脈瘤血管内レーザー焼灼術

日帰りにて下肢静脈瘤レーザー治療を行っています。手術時間は1時間程度です。治療を行うことで静脈瘤の消退をはじめ下腿の浮腫、だるさ、疼痛、夜間のこむらがりなどの症状が改善します。



レーザー治療のカテーテルと装置



治療のイメージ



治療前

下腿に著明な静脈瘤形成を認める。



治療3か月後

静脈瘤は著明に縮小

～栄養科の紹介及び当院のお食事について～

入院中は、患者様一人ひとりに管理栄養士が担当致します。各患者様の病気や症状、年齢や身体活動に合わせて適正な食事内容を、医師はじめ各スタッフと検討し提供しています。

行事食

季節や祝日等、食事が楽しみの一つになるよう、行事食カードと共に提供しています。



天丼



筑前煮

お祝い膳

当院では2023年9月よりLDR室（Labor陣痛・Delivery分娩・Recovery回復）2部屋と新生児室を改装しました。無痛分娩も実施しております。お料理は季節の食材を使用し、彩りよく仕上げました。



～MENU～

彩り野菜のアンティパスト
きのこと野菜のグリル
トマトとアボカドのファルシーサラダ
和牛ステーキ 岩塩添え
季節のフルーツとケーキ

スマイル食

化学療法の治療中は多くの患者様に食欲不振が見られます。原因は副作用によって起こる嘔吐、吐き気、味覚障害、口内炎、下痢など様々な症状が見られ食欲低下になります。まずは、食べられるもの1～2品から栄養を補給します。



巻き寿司



ナポリタンスパゲッティ



冷奴

健康管理センター

当院の健康管理センターは最高水準の医療ケアと予防医療を提供しています。

1泊2日で健診を受けられる方の食事になります。

素材にこだわり、すべて国産品の材料を使用しております。



救急指定病院

総合病院

厚生中央病院

さんま通信

No.76 2024

発行元：総合病院 厚生中央病院 経営企画広報室

〒153-8581 東京都目黒区三田1-11-7
TEL：03-3713-2141 FAX：03-3713-4963
URL <https://www.kohseichuo.jp>

看護師等、随時募集しております。詳しくは当院ホームページをご覧ください。